

みなさん、おはようございます。

夏休み中、特に大きな事故がなく、今日こうして元気な皆さんと共に2学期を迎えることができたことを、大変嬉しく思います。

今年の夏は、7月までは涼しくて比較的過ごしやすいなと思っていましたが、梅雨が明けると一気に猛暑の日々が続きました。そんな中、夏休みの初めは、1年生から3年生まで学力の更なる向上と定着のために夏季講習があり、特に3年生の多くは三者面談などを通して自分の進路目標がより具体的になり、講習と家庭での学習に意欲的に取り組んでくれたものと思います。

また、全国大会など各種の大会に出場して頑張った人もいますし、老人福祉施設の夏祭りや蔵王坊平クロカンの補助役員など、地域貢献活動やボランティア活動にも参加してくれた人もいます。そして、部活動では、多くの部が1・2年生中心の活動となり、運動部は新人戦など目指す大会に向けて、文化部は麗明祭や県高校総合文化祭などに向けて、普段の活動に加えて強化練習や合宿等を行いました。特に吹奏楽部は、県大会で見事金賞を獲得し、初めて東北大会への出場権を得る活躍がありました。また、上山市との友好都市であるドイツのドナウエッシンゲン市に訪問した5名の皆さんもおります。これら、この夏休みのそれぞれの活動や取り組みが、皆さんにとって大きな力となり成果となることを心から期待します。

さて、8月は、広島・長崎の原爆の日や終戦記念日があり、改めて平和の大切さについて認識を深めなければならない月でもあります。

8月6日の広島原爆の日に、松井広島市長は、平和宣言の中で、平和のためには「一人ひとりが主張の違いを乗り越えて『寛容』の心を持たねばなら

ない」と訴えました。また、私は、二人の小学生が述べた「平和への誓い」がとても心に残っています。

少し省略して紹介します。～「平和への誓い」～

私たちは、広島町が大好きです。ゆったりと流れる川、美しい自然、「おかえり。」と声をかけてくれる地域の人、どんなときでも前を向いて生きる人々。広島には、私たちの大切なものがあふれています。

昭和20年8月6日。あの日から、広島街が一変しました。血で染まった川、皮膚がはがれた人、たくさんの亡骸、見たくなくても・目に飛び込んでくる、地獄のような光景が広がったのです。大好きな町の「悲惨な過去」です。被爆者は語ります。「戦争は忘れることのできない特別なもの。それでも相手の国を憎まず、戦争を憎んでいるのだ」と。私たちは、大切なものを奪われた被爆者の魂の叫びを受け止め、次の世代や世界中の人たちに伝え続けたい。

「悲惨な過去」を「悲惨な過去」のままで終わらせないために。

二度と戦争をおこさない未来にするために。

国や文化や歴史、違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちは同じです。みんなの「大切」を守りたい。「お互いを認め合い、許し合うこと」「寄り添い、助け合うこと」「相手を知り、違いを理解しようと努力すること」が大切なのです。大好きな広島に学ぶ私たちは、互いに思いを伝え合い相手の立場に立って考えます。意志をもって学び続けます。被爆者の思いに私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。

どうでしょうか。被爆者も80歳を超えて語り部も少なくなっている今、次代を担う子供たちの被爆者に代わって平和の大切さを伝えている姿に、とても感動したところです。また、長崎の高校生は、被爆者の声を直接聞ける

最後の世代として、被爆者の肉声を動画投稿サイト「Y o u T u b e」に投稿し、平和や核廃絶を呼び掛けたという山形新聞の記事も見かけました。素晴らしいことです。

戦争は、多くの人の命を奪い、多くの人が傷つき、その傷跡は何十年、何百年経っても消えることはありません。この悲惨な経験から、心に深く刻み込まれたのは「争いからは何も生まれない」ということだと思います。

今年になって、経済問題や過去の政治問題などで、日本と韓国、アメリカと中国が、国と国との争いや対立が深まって収束する様子が見られません。また、中東のホルムズ海峡も緊迫化していて、とても心配な状況になっています。争うことの無意味さを忘れないで、早く平和的に解決してほしいと願っているところです。

さて、今週末は、本校最大の行事、「麗明祭」があります。今年のテーマは、「ハッピー・ジャムジャム／そこのあなたもおどきな祭」です。最初、このテーマを聞いた時、「何のこっちゃ」と思いましたが、パンフレットの挨拶文を書くために調べてみたら、元々は“しまじろう”というアニメのエンディングテーマのタイトルとのことですが、今 SNS では「最高に幸せ」と同じ表現でも使われているようです。例えば「大好きな友達に会えてハッピージャムジャム（最高に幸せ）」のように・・・です。

ですから、このテーマは、「みんなの力で、楽しく思い出深い、最高にハッピーな学校祭にしよう」という解釈でいいのでしょうか。これまで準備を進めてくれた実行委員会の皆さんや生徒会の皆さんをはじめ、文化部やクラスにおける各企画の準備について、力を合わせてよろしくお願いします。

そして、麗明祭が終わると、3年生は進路希望達成に向けていよいよ待ったなしです。就職希望者は、来月中旬には就職試験が始まります。進学希望

者にとっても追い込みの大切な時期になります。焦らず、着実にあゆみを進めてください。

1・2年生は、充実した高校生活となるよう、自ら進んで勉強、部活動、ボランティア活動などに一層励んでください。それが今後将来、皆さんの「自分の道を切り開く力」となります。1年間で最も長い2学期、「忙しくも、充実した2学期」となることを期待して、始業式の式辞とします。